

PRINCIPLE

趣旨・目的

- 1 事業継続に必要な備蓄品を確認すること
- 2 各法人との情報交換を学習すること
- 3 他法人と協力して福祉避難所を開設すること

COMPONENT

- 事業継続資源シート 参加者 各1枚
- 災害備蓄品、福祉避難所への応援資源シート 参加者 各1枚
- 福祉避難所運営資源シート 1グループ1枚
- 事務局シート 1グループ1枚
- 被害状況カード 3種類 × 各3枚
- インフラカード 6種類 × 各10枚
- 災害備蓄品カード 8種類 × 各10枚
- 福祉避難所カード 11種類 × 各10枚

OUTLINE

このゲームは「災害時に自法人の事業を継続したうえで、各法人が連携して福祉避難所を開設する」ことを机上で体験することをコンセプトとしています。各プレイヤーは、ゲームを進める中で、自法人には足りない人材資源、物的資源を把握し、法人としての今後の課題を洗い出します。最終的に各法人間が連携し、10床の要援護者を受け入れるための福祉避難所を立上げなければなりません。足りない物資がある場合には、他法人へ情報を発信すること、また、各法人の情報も収集することが大切です。自法人だけではできない体制整備を、参加プレイヤー全員で考えていくことが重要です。

HOW TO PLAY

1 事前準備

- 1-① 各シートをホームページ（QRコード）からダウンロードしてください。
- A 事業継続資源シート 参加人数分
 - B 災害備蓄品、福祉避難所への応援資源シート 参加人数分
 - C 事務局シート 1グループ1枚
 - D 福祉避難所資源シート 1グループ1枚



ダウンロードページPW：3430489

2 スタンバイ

- 2-① 5人～8人でグループになり、1つのテーブルを囲みます。
※参加者はボールペンか鉛筆を用意してください。
- 2-② 参加者の中から1名事務局の担当を決めます。（ppt.2）
※事務局は自治体や社会福祉協議会等の役割です。
- 2-③ 事務局はC事務局シートを取り必要枚数分カードを取ります（ppt.3）
- 2-④ 参加者はそれぞれ、A事業継続資源シート、B災害備蓄品、福祉避難所への応援資源シートを1枚ずつ取ります。（ppt.4）
- 2-⑤ 机の中央にD福祉避難所資源シートを置きます。
- 2-⑥ 参加者は、青色のインフラカード6枚（電気、水道、ガス、職員、電話・メール、食事）を1枚ずつ取り、A事業継続資源シートに置きます。（ppt.5～ppt.6）
- 2-⑦ 参加者は、緑色の災害備蓄品カード8種類（自家発電、小型発電、水（1日分）、貯水タンク、LPガス、職員ネットワーク、コミュニケーションツール、非常食（1日分））を、自事業所で所持している事業所のみカードを取ります。（ppt.8～ppt.16）

- 自家発電カード：非常用自家発電システムを導入している場合1事業所1枚
- 小型発電機カード：小型発電機を常備している場合1事業所1枚
- 水（1日分）カード：非常用の水1日分ストックしている場合、1日分当たり1枚
- 貯水タンクカード：非常用の水を貯水タンクでストックしている場合、1日分当たり1枚
- LPガスカード：LPガスを導入している場合1事業所1枚
- 職員ネットワークカード：災害時に職員が出勤できる体制を整えている事業所は1事業所1枚
- コミュニケーションツールカード：衛生電話、SNSやLINE等で連絡体制がある事業所は1事業所1枚
- 非常食（1日分）カード：非常用の食事1日分ストックしている場合、1日分当たり1枚

- 2-⑧ 参加者は、赤色の福祉避難所カード11種類（先遣隊派遣、ケアワークチーム、ソーシャルワークチーム、簡易ベッド、パターション、マスク、消毒液、ポータブルトイレ、衣類、セントラルキッチン、福祉用具レンタル）を、自事業所で所持している事業所のみカードを取ります。（ppt.17～ppt.27）

- 先遣隊派遣カード：先遣隊として派遣できる職員がいる場合は1名につき1枚
- イケアワークチームカード：福祉避難所の介護ができる職員を派遣できる場合1名につき1枚
- ソーシャルワークチームカード：ソーシャルワーカーが来る職員を派遣できる場合1名につき1枚
- 簡易ベッドカード：福祉避難所に簡易ベッドを支援できる事業所は1台につき1枚
- パターションカード：福祉避難所にパターションを支援できる事業所は1台につき1枚
- マスクカード：福祉避難所に100枚のマスクを支援できる事業所は100枚につき1枚

- 消毒液：福祉避難所に1ℓの消毒液を支援できる事業所は1ℓにつき1枚
- ポータブルトイレカード：福祉避難所にポータブルトイレを支援できる事業所は1台につき1枚
- 衣類カード：職員から集めたり、備蓄品として衣類を出せる場合は1事業所1枚
- セントラルキッチンカード：食事支援をしてくれる業者との契約がある場合1事業所につき1枚
- 福祉用具レンタルカード：福祉用具を支援してくれる業者との契約がある場合1事業所につき1枚

3 災害発生

- 3-① 被災状況カードを1事業所1枚とります。（PPT.30）
- 3-② 被害状況に応じてインフラカードを返却します。（PPT.32）
被害状況大：「電気」「水道」「ガス」「人材」「電話・メール」「食料」を返却
被害状況中：「電気」「水道」「電話・メール」を返却
- 3-③ 被害状況に応じて地域貢献メーターを増減させます。（PPT.33）
被害状況大：-6点 被害状況中：-3点 被害状況小：±0点
- 3-④ 自事業所が持っている災害備蓄品に応じてインフラカードを取り戻すことができます。また、1枚につき1点、加算します。（PPT.34～PPT.37）
自家発電カード or 小型発電機カード：電気カードを取り戻し+1点
水（1日分）カード×3枚 or 貯水タンクカード：水カードを取り戻し+1点
LPガスカード：ガスカードを取り戻し+1点
職員ネットワークカード：職員カードを取り戻し+1点
コミュニケーションツールカード：電話・メールカードを取り戻し+1点
非常食（1日分）カード：食料カードを取り戻し+1点
- 3-⑤ 参加者の被害状況と必要物品を報告し合ってください。（PPT.38）
- 3-⑥ 小型発電機カード、水（1日分）カード、コミュニケーションツールカード、非常食（1日分）カードを、持っている事業所からもらうことができます。（PPT.39）
- 3-⑦ 事務局が災害対策本部を立ち上げます。事務局は1事業所を本部に任命してください。（PPT.41）
- 3-⑧ 本部を任命されたところは、地域貢献メーターを+1点。（PPT.41）

4 福祉避難所立上げ

ここからは本部になった事業所が福祉避難所を立ち上げるため、PPTに沿って指示を出します。

- 4-① 全事業所の被害状況・回復状況を見て、参加事業所から話を聞きながら、福祉避難所を立ち上げる事業所を選んでください。
- 4-② 福祉避難所に選ばれた事業所は、地域貢献メーターを+1点。
- 4-③ 本部は福祉避難所開設に必要な物品を必要数、各事業所から支援していただくよう促してください。（PPT.49～PPT.52）
- 4-④ 足りない物品については、事務局にお願いして、必要数出してもらいます。（PPT.53）
- 4-⑤ カードを出した事業所は地域貢献メーターを1枚につき+1点。

5 採点

福祉避難所は開設できましたか？

自分の地域貢献メーターで災害時の備えの状況が分かります。（PPT.55）
ゲームを通して、自法人の備蓄品の量、また福祉避難所を複数事業所で立ち上げるることについて、皆さんでディスカッションしてください。